

Local Area News

トップスタイリストによる実践講習

エスピーシー関越理美容事業(協)

エスピーシー関越理美容事業協同組合(星野信明理事長)は、1月24日、前橋市・組合事務所にて、技術向上のための実技講習会を開催した。講師は、神奈川県藤沢市で人気の美容室を展開する有有限会社フロムファースト代表取締役・鹿倉孝之氏。

鹿倉氏は、自身の経験を通じ、スタイリストとして基礎力の重要性を訴えた。また、以前は、広告宣伝に力を入れることで集客力を高められたが、昨今、競争激化の中で、スタイリストの技術の差が集



技術指導を行う鹿倉氏

客に大きく影響すると述べた。

実践指導では、カット時の腕の高さや角度、目線や体の位置といった基本を再確認するとともに、最もニーズの高いヘアスタイルの技法を指導し、練習を重ね、身につけて欲しいとエールを送った。

若手商業者向け講習会を実施

群馬県商店街(振)連合会

群馬県商店街振興組合連合会(今川守会長)は、1月24日、太田市・太田ナウリゾートホテルにおいて、太田地域の若手商業者を対象に「経営に活かすアンガーマネジメント」をテーマに講習会を開催。講師は、株式会社ラポール企画代表取締役・大小原利信氏。

ストレスの一番の原因は職場の人間関係にあると述べ、根底には

「怒り」があることが多いと説明した。その上で、怒りをコントロールすれば、職場内のチームワークが高まり、仕事の成果を上げられるとアドバイスした。



怒りを体感する参加者

また、怒りのピークは6秒間と述べ、その6秒間を上手くコントロールする対処法として「深呼吸」「その場を離れる」「筋弛緩法」などを紹介した。さらに、日頃より「ポジティブ思考」でコミュニケーションを行えば、周囲の環境が良くなると共に、店舗でのクレーム対応にも応用できると説いた。

連携による店づくりを語る

下仁田町商業(協)

下仁田町商業協同組合(高橋徹

理事長)は、1月27日、下仁田町・下仁田町商工会館において、「地域との連携による店づくり」をテーマに講習会を開催した。講師は、山梨県で「スーパードット」を10店舗展開している、株式会社やまと代表取締役・小林久氏。

小林氏は、大型スーパー進出による経営悪化を乗り越えた後、顧客や地域へ感謝の意を込め様々なサービスを開始したと語った。



地域連携を語る小林氏

そのサービスの一例として、店舗前の生ごみ処理機設置、エコバッグ無料配布、自治体との防災協定締結、過疎地域への移動販売などを紹介した。小林氏は、新たな取組を行う上で重要なのは「前例のないことをする」ということで、必要以上の利益は地域へ還元するという信念をもって実践していると経営観を語った。

LAW

認知症による経営上のリスクを周知

群馬県再生資源事業(協)連合会

群馬県再生資源事業協同組合連合会(上岡克己会長)は、1月29日、渋川市・ホテル木暮において、「認知症対策と地域の役割」をテーマに講習会を開催した。講師は、公益財団法人老年病研究所附属病院院長・高玉真光氏。

高玉氏はまず、認知症とは「後天的な原因により正常であった脳の知的な働きが慢性的に低下し、社会生活や日常生活を営めなくなる状態」と説明。続けて、認知症の類型や原因、それぞれの特徴、判断基準、予防法等を紹介した。

さらに、認知症で最も重要なことは早期発見と予防対策であると強調。「認知症は本人だけでなく、家族にも負担が大きく、多面的なサポートが必要となる。経営の観点からも、家族介護の負担が、自社の廃業や社員の離職につながるリスクがある」と解説した。結びに、高齢者が長く元気に希望を持って働き続けられる地域の構築に、取り組むよう呼びかけた。



高玉真光氏

事業承継のポイントを学ぶ

群馬県蒟蒻原料商工業(協)

群馬県蒟蒻原料商工業協同組合(小山淳旨理事長)は、1月31日、高崎市・高崎ワシントンホテルプラザにおいて、「事業承継の基本と実践について」をテーマに講習会を開催した。講師は、税理士・笹尾博樹氏。

まず、事業承継の考え方について「企業がこれまで培ってきた様々な財産を上手に引き継ぐことが、承継後の経営を安定させるために重要。相続税対策ばかりが重視されがちだが、それは事業承継の一部に過ぎない。後継者にとっては、サラリーマンから経営者への脱皮であり、自分から打って出る『超友好的なM&A』とも考えられる」と説明した。

さらに、グループ討議・事例研究を交えながら、事業承継対策の詳細な部分の解説を行った。



笹尾博樹氏

群馬県物流人材育成

シンポジウム

群馬県貨物運送事業(協)連合会

群馬県貨物運送事業協同組合連合会(武井宏会長)が群馬県から受託している「群馬県物流人材育

成・確保対策事業」の一環で、2月3日、前橋市・前橋マキユリーホテルにおいて、群馬県主催による「群馬県物流人材育成シンポジウム」が開催された。会員組合を中心に物流企業関係者ら105人が参加した。

まず、株式会社クオリティ・オブ・ライフ代表取締役・原正紀氏が「採用難時代の人材採用」をテーマに講演した。

次いで、パネルディスカッションでは、群馬急送株式会社代表取締役会長・清水岩夫氏、みつわ運輸株式会社代表取締役社長・轟英治氏、群馬小型運送株式会社代表取締役社長・川手和義氏の3者が、①採用に関する課題、②課題解決のために実施した改善・対策、③成果や今後の取組の3つのテーマにおいて、それぞれ事例を紹介した。



大勢の参加者が聞き入っていた